

弁天ほたる鑑賞会

かつて布施弁天のまわりに無数に飛んでいたほたるが姿を消して数十年。里山の自然を取り戻し、ほたるの光をもう一度……と願って、地域の有志で始めた弁天ほたるプロジェクトですが、富勢東小学校の子どもたちが中心になって幼虫を育ててくれ、地域の大人たちが水生植物園の水源などを整備してくれた結果、昨年は2日間で2,400人を超える人たちにほたるの舞を楽しんでいただくことができました。

今年はさらに水路を拡充しつつ、東小学校だけではなく富勢小学校、富勢中学校、県立柏高校の児童・生徒が協力してくれた結果、昨年の800匹を大きく上回る1,300匹の幼虫を放流することができました。

梅や桜、チューリップやひまわりなど季節ごとに私たちの目を楽しませてくれるあけぼの山の自然ですが、あわく光る緑色のあかりで、夏の一夜をお楽しみいただければ幸いです。



昨年8月の幼虫。まだ体長は2～3ミリ



地域の大人たちが水源や水路の整備



拡充された水路



幼虫を育ててくれた県立柏高校の生徒たち



鑑賞会の様子